

- 高1・2 現代文
- 越冬する小論文

高1・2 現代文

小柴 大輔 先生

評論や小説など書き言葉の日本語は、特別な日本語で、その読み解きには正しいガイドが必要です。また入試現代文の設問への解答力は、独学では身に付きません。解き方という方法が実はあるのです。多くの方がこのことを理解しないまま、高3でジタバタすることになります。早期からキッチリ対策をしましょう。

★ 2学期「スタンダード現代文」受講者は必修となります。



越冬する小論文
(対象：無学年)

小柴 大輔 先生

—慶応義塾大および上智大（哲学科・新聞学科・神学科など）、早稲田大（スポーツ科学部）
医療系・教育系・国公立大学後期など小論文を必要とするすべての受験生向け—

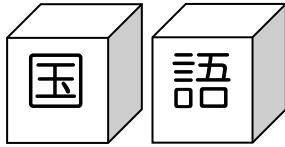
冬期の短期集中講座では、頻出課題であり、またチャレンジしておけば、そこから得られる知恵＝言葉の財産＝概念の眼鏡（アイデアを見つけることばのメガネ）の程は、はかり知れないというようなテーマをとりあげます。

すでに前期から小論文対策に乗り出している生徒にとっては、かくて入試小論文で問われる主要テーマをほとんど踏破することになります。提出された小論文答案に対してはモーレツな赤ペン添削が入り、具体的な訂正や加筆の指示が出ます。各テーマについて、決して書きっぱなしにせず、修正版を書いていただきます。

諸君が受験する日本最高水準の大学においても上位合格に位置づけられる優れた小論文というものが、私たちの経験から隔絶した「真理の国」にあるのではなく、今かける小論文の改正の果てにあるということを実感しよう。

※なお事前の予習はいらぬ講座です。また、冬期からの小論文受講者も歓迎です。

★ 2学期「包括的小論文」受講者は必修となります。



- 高1・2 古文
- 古文文法（映像）

高1・2 古文 朝倉 吏 先生

- 難関国公立・私立大学の現役合格を目指すために、「単語・文法・構造把握」を総合的に学ぶ講座です。
 - 「単語・文法」にも、効率のよい覚え方と利用の仕方があります。そのうえ、「構造把握」と組み合わせることで、読解において絶大な効果を発揮します。本講座は、それらの方法論を学び、問題演習を通じて獲得してもらいます。
 - 冬期講習からの受講も大歓迎です！まだ受験古文に取り組んでいない人にとっては、スタートにうってつけの講座です。
- ★2学期「スタンダード古文」受講者は必修となります。



古文文法（映像）
（対象：無学年）

朝倉 吏 先生

- 基本文法を網羅し、文法問題のみならず古文読解にも活かすことを目指した講座です。
- 「古文文法」攻略のポイントは【カタチの把握】に他なりません。どのような点に着目するのか、どのように判断するのかを、厳選した入試問題の演習で、確実に身につけていきましょう。
- この講座は、Part 1 ～ 3 の3セットで構成しています。自身の学習進度に合わせて、受講することができます。

◆講義内容◆

Part1

- ① 活用形＜基礎＞／動詞
- ② 形容詞・形容動詞／係助詞
- ③ 接続助詞／助動詞「き・けり」／助動詞「ず」
- ④ 助動詞「つ・ぬ」／助動詞「たり・り」／識別「ぬ・ね」
- ⑤ 助動詞「る・らる」／識別「る・れ」

Part2

- ① 助動詞「す・さす・しむ」／活用形＜実践＞
- ② 2種類の「なり」／助動詞「めり」
- ③ 識別「なり」／識別「に」
- ④ 助動詞「べし・まじ」／助動詞「まし」
- ⑤ 助動詞「む・むず・じ」／助動詞「らむ・けむ」

Part3

- ① 識別「なむ」／識別「らむ」／識別「し」
- ② 格助詞／副助詞
- ③ 終助詞／呼応の副詞
- ④ 敬語（1）＜種類・訳出・敬意の方向①＞
- ⑤ 敬語（2）＜敬意の方向②・特殊な敬語＞